

いいぶし いくろう

飯伏育郎氏が「消防庁長官表彰」を受賞



受賞したオーハツの飯伏育郎氏 式典で起立する飯伏氏

消防庁（原邦彰（はら・くにあき）長官）と一般財団法人日本消防設備安全センター（西藤公司（にしとう・こうじ）理事長）が共催して、「令和5年度消防設備関係功労者等表彰式」が11月2日（木）に東京・港区元赤坂の明治記念館2階「蓬莱の間」にて開催されました。式典は「消防庁長官表彰」と「日本消防設備安全センター理事長表彰」の順に2部構成。令和5年度は自家発電業界からオーハツ株式会社（大阪市富田林市、代表取締役社長・芝谷康二氏）の飯伏育郎（いいぶし・いくろう）取締役が、消防機器開発普及功労者として、「消防庁長官表彰」を授与されました。表彰式では冒頭、消防庁の原邦彰長官が登壇して、受賞者と随行者の全員をねぎらう「式辞」を述べました。**（6面に式辞全文）**

なお、オーハツ株式会社からは芝谷康二（しばたに・こうじ）代表取締役社長が、消防機器開発普及功労者として、令和元年11月1日付けで当時の林崎理（はやしざき・おさむ）消防庁長官より表彰状を授与されました。過去、内発協会員の中で同一企業から2名が、「消防庁長官表彰」を授与された実績は無く、今回が初めての快挙となります。

今回、晴れて「消防庁長官表彰」受賞者の榮譽に浴した飯伏育郎氏は、今年5月31日（水）付けで「全国消防機器協会会長表彰」を受賞したのに続く、受賞となりました。会長表彰を受賞した際と同様、「永年にわたり、非常電源としての自家発電装置の普及促進や維持管理に取り組むと共に、消防用設備



式辞を述べた消防庁長官の原邦彰氏



平野正樹・内発協会長との記念撮影

に対する安全確保と安定した電力供給の為に尽力した多大な功績」が高く評価され、消防庁長官表彰の授与に結実しました。

令和5年度消防庁長官表彰の受賞者は（1）消防設備保守関係功労者表彰は30名（2）消防機器開発普及功労者表彰は30名（3）優良消防用設備等表彰は施設・設備等の建設と導入に携わった設置者・設計者・開発者・施工者の3件16名。表彰式ではそれら3部門毎に、司会者が受賞者全員の氏名を読み上げた後、受賞者代表が登壇しました。原長官が表彰状を読み上げられ、代表者に表彰状を授与されました。続いて、来賓が祝辞を述べました。

一方、引き続き行われた令和5年度日本消防設備安全センター理事長表彰の受賞者は（1）消防設備保守関係者表彰は91名（2）消防用設備等点検済表示制度推進優良事業所表彰は50人（3）防災安全関係者表彰は6名。登壇した日本消防設備安全



受賞者代表に表彰状を授与する原邦彰・消防庁長官



列席された消防設備関係団体等からの来賓4氏



左から五味裕一・消防庁次長、西藤公司・日本消防設備安全センター理事長、原邦彰・消防庁長官



受賞者代表に表彰状を授与する西藤公司・理事長

センターの西藤公司理事長は冒頭、列席者全員に向けて「挨拶」を述べました。**(6面に挨拶全文)**

西藤公司理事長より受賞者代表に対して表彰状が授与されました。続いて、来賓が祝辞を述べました。



式典後、受賞者全員が1階「曙の間」に移動して、記念撮影が行われました。再び2階「富士の間」に会場を移して、日本消防設備安全センター（西藤公司理事長）と一般社

表彰祝賀会で挨拶する西藤公司理事長



右から黒川昭彦・内発協専務理事、松尾圭造・オーハツ取締役

団法人全国消防機器協会（金森賢治（かなもり・けんじ）会長）が共催して、「表彰祝賀会」が盛大に行われました。西森賢治会長の開会挨拶、来賓挨拶に続き、金森賢治会長の発声で参加者全員で乾杯を行い、会場には談笑の輪が広がりました。



長官表彰の推薦申請で責任者を務めた館野光昭・内発協製品認証部長

